

単志報



百周年の歴史を祝おう

沖縄県立第二中学校・那覇高等学校
創立百周年記念事業期成会設立総会及び第一回評議員会



設立総会に集う城岳同窓会、学校、PTA、後援会のみなさん
2008年7月5日那覇高校にて

本校は、沖縄県立中学校の分校として1910年（明治43）4月1日に創立し、翌年1911年に沖縄県立第二中学校として独立しました。

以来明治・大正・昭和・平成と幾多の苦難と栄華の歴史を積み重ね、ここに至って2010年（平成22）に創立百周年の記念すべき節目を迎えることとなります。

ここに学校・城岳同窓会・PTA・岳友会（後援会）が中心となって、学校の諸教育活動等への物心両面から支援を行い、那覇高等学校のさらなる飛躍発展を期して記念事業を行うために「創立百周年記念事業期成会」を設立します。



記念事業について抱負を語る役員のみなさん。設立総会にて

「創立百周年記念事業期成会」役員

1 顧問	稲嶺 恵一 (同窓会)、	仲井眞 弘多 (同窓会)
2 会長	宇良 宗眞 (同窓会)	
3 副会長	源河 徳博 (同窓会)、	内村 保 (PTA)
	金城 永眞 (岳友会)、	翁長 武範 (校長)
4 理事	嘉納 勝 (同窓会)、	宮城 明 (同窓会)
	與儀 清春 (岳友会)、	高安 美智子 (教頭)
	長嶺 清喜 (事務長)、	比嘉 元子 (学校)
5 監査役	屋比久 嘉光 (同窓会)、	阿波連 勉 (PTA)
	長濱 雅仁 (岳友会)	
6 事務局	前城 盛雄 (事務局長・教頭)	
	宮城 明 (事務局次長・同窓会)	

委員会の任務

1, 総務委員会

委員長	内村 保 (PTA)
副委員長	金城 美智子 (同窓会)、 前城 盛雄 (学校)
	與儀 清春 (岳友会)
委員	(若干名)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) 記念事業推進の全般に関すること | (2) 各種委員会の連絡調整に関すること |
| (3) 記念式典に関すること | (4) 祝賀会に関すること |
| (5) その他の総務に関すること | |

2、財務委員会

委員長 嘉 数 昇 明 (同窓会)
副委員長 嘉 納 勝 (同窓会)、 宮 里 公 江 (PTA)
長 嶺 清 喜 (学校)
委 員 (若干名)

- (1) 予算・決算に関する事
- (2) 収入・支出に関する事
- (3) 会員の寄付に関する事
- (4) 一般募金に関する事
- (5) その他の財務に関する事

3、事業委員会

委員長 源 河 徳 博 (同窓会)
副委員長 名嘉山 興 武 (岳友会)、 伊 敷 利 夫 (PTA)、
高 安 美智子 (学校)
委 員 (若干名)

- (1) 学校環境、施設に関する事
- (2) 学校のマスタープランに関する事
- (3) 人材育成・奨学に関する事
- (4) 芸能・スポーツ大会に関する事
- (5) その他の記念事業に関する事

4、記念誌委員会

委員長 松 島 弘 明 (同窓会)
副委員長 東金城 筭 一 (同窓会)、 国 吉 清 文 (PTA)、
吉 本 健 二 (学校)
委 員 (若干名)

- (1) 記念誌の企画に関する事
- (2) 記念誌の編集に関する事
- (2) 記念誌発行に関する事
- (4) 記念誌配布に関する事
- (5) その他の記念誌に関する事

平成20年度城岳同窓会総会・懇親会

平成20年度定期総会・懇親会は5月17日(土)午後5時よりパシフィックホテル沖縄で開催された。

総会では、平成19年度事業報告・決算報告、平成20年度事業計画案・予算案、城岳同窓会A氏奨学金規定案の審議が行われ承認された。

懇親会は、「心一つに一世紀、二中・那覇高校我が母校」のテーマのもとに31期生の皆様が幹事となって運営され、約600名の参加があった。同窓生によるチェロのウエルカ

ムコンサートに始まり、幕開けの和太鼓やフラダンス、そしてジャズ演奏などを楽しみながら懇親を深めた。また、ご多忙にもかかわらず駆けつけた10期生仲井真弘多知事の乾杯の発声で大いに盛り上がった。会場において募った奨学金の募金は22万円余にも達し、同窓生の母校への期待が伺えた。なお、懇親会の場で同窓会から海外留学奨学金として宇地原大介君に80万円、城岳賞としてサッカー部に5万円の目録を贈呈した。



二中校歌を歌う先輩たち



笑顔で奨学金募金に応ずる

平成20年度の主な事業計画

今年度の主な事業は、下記のとおりである。

平成20年

- ☆ 4月9日(水) 平成19年度会計監査
- ☆ 4月18日(金) 理事会・評議員会（総会及び懇親会事項について）
- ☆ 5月17日(土) 平成20年度総会並びに懇親会（パシフィックホテル沖縄）
- ☆ 6月15日(日) 城岳同窓会主催二中前通り大クリーン作戦
- ☆ 6月23日(月) 二中健児の塔慰霊祭
- ☆ 9月18日(木) 第2回理事会
- ☆ 10月1日(水) 会報14号の発行
- ☆ 10月16日(木) 第6回城岳講座「先輩からのメッセージ」
- ☆ 10月30日(木) 城岳同窓会交流・親睦ゴルフコンペ
- ☆ 11月15日(土) 第9回那覇高等学校・首里高等学校親善スポーツ大会
- ☆ 11月 第3回理事会

平成21年

- ☆ 3月 第4回理事会
- ※ ホームページ運営委員会を毎月第2木曜日に開催
- ※ 囲碁同好会による囲碁大会が1月、4月、7月、10月の第1日曜日に同窓会館会議室において開催

二中健児の塔慰霊祭しめやかに行われる

6月23日は「慰霊の日」、県内各地で慰霊祭が開催されている。今年も「二中健児の塔慰霊祭」が城岳同窓会、那覇高校、二中健児の塔遺族会の共催で行われ約500名が参加し、しめやかに行われた。二中健児の塔には沖縄戦で亡くなられた職員9名、学徒185名（5年生21名、4年生30名、3年生53名、2年生75名、1年生6名）が祀られている。

二中健児の塔慰霊祭次第

- 1、開式のことば
- 2、二中校歌献樂
- 3、黙禱
- 4、読経
- 5、追悼の辞(同窓会長)
- 6、平和の誓い(生徒代表)
- 7、遺族代表挨拶
- 8、焼香(同窓生、PTA代表、那覇高職員、生徒会役員、学級代表)
- 9、弔電奉読、
- 10、閉式のことば



生徒代表による平和の誓い



焼香 (翁長武範校長、宇良宗真同窓会長、照屋真遺族会代表)

城岳同窓会A氏奨学金について

平成19年12月に、同窓生A氏から1億円の奨学金寄付の申し出があり、理事会において奨学金規定を定め平成21年3月卒業生から募集を開始することになった。その概要はつぎのとおりである。

(奨学生の資格) 奨学生となる者は

- 1 地域社会や城岳同窓会への貢献が期待できる者であること。
- 2 大学へ進学し、高校在学中は、学業、人物ともに優秀であって経済的理由により、学業継続が困難な者であること。
- 3 他より奨学金の貸与または給与を受けている者は、原則として給与を受けることができない。

(奨学金の額) 奨学金は一人当たり

県内は月額20,000円 (年額240,000円)

県外は月額40,000円 (年額480,000円)

(給与期間) 給与期間は、奨学金を受けて1年とする。

(奨学生の人数) 奨学生の人数は、予算の範囲内で決める。(3～4名)

(補則) この奨学金は、同窓生A氏が血のにじむ思いで働き貯めた浄財1億円の資金運用の果実であてるものである。寄付者A氏の意思を尊重し、奨学金以外のいかなることにもこの資金を使ってはならない。この奨学金にかかる事務及び事務経費は城岳同窓会が負担する。

那覇高19期生（還暦合同祝い）実施

私達19期生は平成19年9月29日(土)に、沖縄ホテルに於いて還暦祝いをを行った。当日は、神村孝司実行委員長外各実行委員の呼びかけに、200名の参加があり盛大に催された。同期生の国会議員赤嶺政賢氏、早稲田大学沖縄研究所勝方(稲福)恵子氏、那覇市副市長与儀弘子氏のあいさつ等があり、還暦を迎えた仲間との再会を喜び語り合って懇親を深めた。特記すべきは、当日の会費の中から10万円を那覇高の後輩の為に奨学金として同窓会に寄贈したことである。



那覇高52期同期会4年ぶりに開催

オリンピック開催の年に行われる同期会は、4回の実行委員会(委員長花城由樹夫)を開き準備を進め、7月20日(日)午後6時30分からホテル・ロイヤルオリオンにおいて、恩師2名を含む151名の参加で大いに旧交を温めた。27歳になり子連れの参加や名前が変わった人が増えてきた。二次会、三次会は、市内のクラブに場所を移動し、120名の参加で深夜まで大いに楽しんだ。



平成20年度同期会

7月7日(毎年)	7期	サザンプラザ海邦
7月20日(土)	52期	ホテル・ロイヤルオリオン
8月16日(土)	22期	沖縄ハーバービューホテル クラウンプラザ
8月16日(土)	25期	沖縄ハーバービューホテル 彩海の間
8月16日(土)	26期	ホテルオーシャン
8月16日(土)	34期	沖縄ハーバービューホテル 彩海の間
10月16日(木)	11期	ザ・ナハテラス (アダンの間)
11月1日(土)	21期	ホテル・ロイヤルオリオン
11月8日(土)	18期	エッカホテル沖縄

(上記は、同窓会のホームページで呼びかけ、報告のあった同期会)

「さんか会」

「さんか会」は3期生26名が集い、コーラスを楽しんでいる。今では自他共に認める女声コーラスグループです。その歴史は古く40数年前、同期の7～8名で模合を始め、毎月食べ歩きを続けていましたが、年を重ねていくにつれて人数も増え、そのうちに食べ歩きだけでは能がない、脳を活性化し、心身共に健康に良いことは?・・・ということが話題となり、それには“大きな声を出して歌うのが一番”と全員が賛同、今日に至るまで続けてきました。

活動の拠点を城岳会館に移したのが2003年3月、毎月第2、第4金曜日の午後2時～4時まで、玉城隆子先生の情熱的、パワー溢れる指導による入念な発声練習で始まり、童謡、小学校唱歌、今流行りの曲まで、多彩な曲を歌いこなすことで皆でハモる楽しさを満喫しています。“歌う時は常に18歳の気持ちで・・・”をモットーに、80～90歳までも歌い続けていきたいと願っています。(文責 玉城裕子)



城岳同窓会館ご利用のご案内

- ・ 2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室。
- ・ 3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。
- ・ 4階は進学指導教室として、学校が活用しています。



那覇高校に隣接する城岳同窓会館

那覇高校ニュース

1、進学状況

(平成20年3月卒業生総数478名)

今年度卒業の61期から12クラスとなり、大学合格者数が若干減少している。又、昨今の厳しい雇用状況を受けて、進学に対する意識も現役・安全志向が見られ、資格取得志向も増えた。

(1)[大学合格状況]

国公立大学 61名 (県内 55名)

私立大学 185名 (県内110名)

短期大学 28名 (県内 15名)

専門学校 76名 (県内 58名)

文部科学省管轄外大学校 4名

○現役合格率 73.2%

(2)[就職状況]

県内 4名 県外 1名

○就職率 100%

2、部活動

(1)第48回沖縄県吹奏楽コンクール
(金賞・30年連続)

(2)平成20年度全国高等学校総合体育大会
出場
ウェイトリフティング(比嘉貴大)、剣道(女子団体)

(3)全国女子ウェイトリフティング大会
出場(名嘉美波、比嘉七海、玉城夏樹)

(4)玉竜旗高校剣道大会(男子団体)

(5)第55回NHK杯高校放送コンテスト
全国大会出場(放送部)

(6)全国高等学校総合文化祭群馬大会
出場(団体オーディオピクチャー2名)
(個人朗読部門 1名)

(7)男子サッカー部
第86回全国サッカー選手権大会ベスト16

3、行事

4月 新入生歓迎球技大会、遠足

5月 県総合体育大会、英語スキットコンテスト

6月 校内弁論大会、教育実習

7月 インターシップ、夏期講座(前期)
ワックスかけ(1・2・3年)

8月 夏期講座(後期)

9月 校内スポーツ大会

10月 芸術鑑賞、県高校新人体育大会
城岳講座(先輩による各クラスでの講話)

11月 校内英語カラオケコンテスト

12月 芸術4科(音楽、書道、美術、工芸)
合同発表会

1月 大学入試センター試験
予餞会(3年生を送る会)

2月 ネイサンヘイル交換留学

3月 今春卒業生による1・2年生への講話

4、インターシップ(就業体験)

7月14日～7月16日

144事業所、480人が参加



ハッピー菓子店でインターシップを行った上原(左)さんと伊波(右)さん。将来はパティシユになりたいということで、積極的に働いている姿は店の方からも好評価を頂きました。

城岳同窓会ホームページ

<http://www.jogaku.or.jp>

城岳同窓会会報

編集発行 城岳同窓会 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525